

2022年度

編入学選抜

募集要項

一般編入学選抜(3年次)

一般編入学選抜(2年次)

推薦編入学選抜(3年次)

社会人編入学選抜(3年次)

外国人編入学選抜(3年次)

目 次

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
学科の理念・目的、求める学生像	4
一般編入学選抜（3年次）〔A日程・B日程〕	6
一般編入学選抜（2年次）	8
推薦による編入学選抜（3年次）	10
社会人の編入学選抜（3年次）〔A日程・B日程〕	12
外国人の編入学選抜（3年次）	14
学生納付金	17
東北学院大学編入学包括認定単位	18
編入学試験 志望理由書	23
外国人留学生入学願書	24
経費支弁書	27
在学期間証明書	28
試験場案内図	29

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、記載されている内容に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ずご確認ください。

個人情報について

出願時にご記入いただいた個人情報および試験結果については、厳重に管理します。
以下の場合を除き、個人情報をどのような形式であれ利用することはありません。

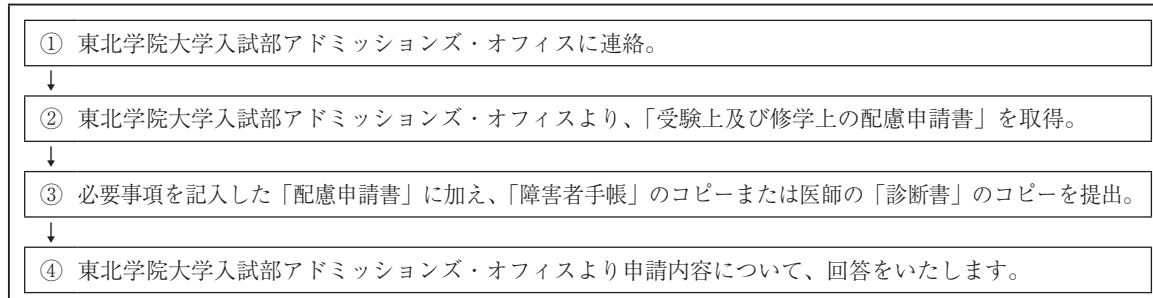
- あなたの入試結果について、出身校の先生の要望により、お知らせする場合があります。その際には、当該試験での受験生全体でのおおよその順位などについて、文書での提供ではなく口頭での説明を行うこととします。
- 入学生の入試結果を、本学における教育の目的で利用することがあります。その場合には、統計データとしての処理を主とし、個人情報については、学内規定により特に許可された場合のみ、厳しい管理基準を遵守のもと、当該学部等に提供することとします。

受験上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願前（入学検定料納入前）のできるだけ早い時期に必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後、修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。場合によって、本学のキャンパスを見学することもお勧めいたします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承をお願いいたします。

【申請の流れ】



提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

■ 東北学院大学の3つの方針

① 入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、次の点を評価して入学を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
3. 高等学校における学習によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）
4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／学修への態度）
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（学修への態度）

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点											
		本学が実施する各入試は、入学受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜※	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学業成績による推薦	資格取得による推薦	キリスト者等推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG推薦	帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎				
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学修すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の諸問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
		関心・態度	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
		関心・態度	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点 (2ページ参照)												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正確な知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）	知識	○	○	◎	◎		○	○	○	◎	○	○	
		関心・態度	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき水準の英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）								◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）										◎	◎	◎		
工学部	1. 東北学院大学の建学の精神と教育理念を理解し、工学部における学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度/学修への態度） （機械知能工学科） 機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 （電気電子工学科） 電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 （環境建設工学科） 環境、土木、建築分野で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。 （情報基盤工学科） IT分野に強い関心があり、本学で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を十分に持ち、継続的計画的に学習を続ける心構えと高い意欲を有している。													
		3. 高等学校における学びによって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。（知識・技能/思考力・判断力・表現力）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
		4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/学修への態度）							◎	◎					
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能/学修への態度）				○						◎	◎	◎	
教養学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 教養学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、教養学部及び各学科での学びを強く望んでいる。 人間科学科では、人間に対する探究心をもち、学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。 言語文化学科では、母語及び2つの言語について学ぶ意欲を強く持つとともに、言語と文化をめぐって探究する諸分野についての確な理解と興味を有している。 情報科学科では、情報の起源や特徴などの本質に関して学んだのち、情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。 地域構想学科では、「よりよい地域づくり」に強い関心と意欲を持ち、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できる。 （主体的に学ぶ態度）						○	○	◎	◎	◎	◎	◎	
		3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎		

※ 一般選抜前期B日程では、英語資格・検定試験の公式スコアを利用できます。

②学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力（コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど）及び英語力を身につけ、活用することができる。
3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

③教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果（以下「学修成果」という。）を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

学科の理念・目的、求める学生像

英文学科

理念・目的

国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

総合人文学科

理念・目的

キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。
2. 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。
3. 社会に対して強い関心を持ち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。
4. 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心を持ち、本学科での勉学に強い意欲を有している。

歴史学科

理念・目的

広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。

本学科の求める学生像

1. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。
2. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。
3. 歴史に関する基礎知識を有している。
4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。

教育学科

理念・目的

人がよりよく生きるための学びと人間の成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

経済学科

理念・目的

時代に流されず、将来を見通す経済社会の理論とスキルを身に付けられるように基礎理論から段階的に現実の問題や政策を学習する。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考え自分の意見を明確に主張することができる。
2. 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。
3. 社会とは何か、特に経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。
4. 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。

共生社会経済学科

理念・目的

経済学のエッセンスを学びながら、年代や性別、ハンディキャップ、民族・文化の異なる多様な他者への理解を深め、共に生きる発想に基づいて、新たな社会経済システムを構想し実践できるような人材の育成を目指す。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。
2. 本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。
3. ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に対して積極的に取り組もうとする意欲をもっている。

経営学科

理念・目的

経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。
3. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。

法律学科

理念・目的

法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。

なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。

「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」"Think legally, for human dignity"

本学科の求める学生像

1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。
2. 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識をもっている。
3. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっている。
4. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。

機械知能工学科

理念・目的

人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。

本学科の求める学生像

1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。
2. 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。
3. 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。

電気電子工学科

理念・目的

電気電子工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する。

本学科の求める学生像

1. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。
2. 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。
3. 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。

環境建設工学科

理念・目的

1. キリスト教精神に基づく、倫理観を備えた人格を形成する。
2. 社会人として必要な教養を身に付けるとともに、環境工学の素養を持った中堅の建設系技術者を養成する。
3. 特に、技術者として具備すべき基礎学力を有し、基礎的専門知識を着実に修得した実践型の技術者となる学生を育成する。

本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。
2. 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。
3. 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。

情報基盤工学科

理念・目的

社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT (Information Communication Technology) 分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てる。

本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有している。
2. IT分野に強い関心を示し、関連分野の知識を習得する意欲を有している。
3. 本学科で学ぶ心構えと意欲をもち、かつ計画的な学習活動を行うことができる。

人間科学科

理念・目的

人間を多角的・実証的に捉える力を育てる。

本学科の求める学生像

1. 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解できる基礎的な学力を有している。
2. 人間や社会の問題を実証的に分析する上で基礎となる数学的な思考力を備えている。
3. 自分の興味関心と将来の目標について、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。
4. 人間に対する探究心をもち、本学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。

言語文化学科

理念・目的

1. 多言語・多文化を通して人間を考える。
2. 人と人をつなぐ人になる。

本学科の求める学生像

1. 英語をはじめとした十分な基礎学力を有している。
2. ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかについて、第二外国語として学ぶ強い意欲を有している。
3. 自分の考えや興味関心について、筋道を立てて説明することができる。
4. 言語と文化をめぐって探求する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、明確な理解と興味を有している。

情報科学科

理念・目的

ITスキルを身につけた教養人を養成する。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報システム系、数理学系、自然科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。
2. 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。
3. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
4. 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。

地域構想学科

理念・目的

グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。

本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。
3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。
4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にかかわっていかこうとする明確な目的と意欲を有している。

一般編入学選抜（3年次）[A日程・B日程]

1. 編入学年次： 3年次

2. 募集定員

学部	学科	定員	学部	学科	定員
文学部	英文学科	12名	工学部	機械知能工学科	6名
	総合人文学科	2名		電気電子工学科	6名
	歴史学科	3名		環境建設工学科	5名
経済学部	経済学科	9名	教養学部	情報基盤工学科	5名
	共生社会経済学科	3名		人間科学科	2名
経営学部	経営学科	8名		言語文化学科	2名
法学部	法律学科	6名	情報科学科	2名	
			地域構想学科	2名	

※ 定員数はA日程とB日程の合計。

※ 教育学科は、3年次編入学選抜を実施しません。

3. 出願資格： 次の(1)～(5)のいずれかに該当する方です。

- (1) 短期大学を卒業した方、または2022年3月卒業見込みの方
- (2) 高等専門学校を卒業した方、または2022年3月卒業見込みの方
- (3) 本学以外の大学に2年以上在学し（2022年3月までに2年以上在学となる場合を含む）、62単位以上（教職・学芸員等の資格に関する科目を除く）を修得した方、または2022年3月修得見込みの方
- (4) 学士の学位を有する方、または2022年3月取得見込みの方
- (5) 専修学校の専門課程を修了した方、または2022年3月修了見込みの方で、文部科学大臣の定めるところにより大学への編入学の資格を認められた方、または2022年3月取得見込みの方

※ 「一般編入学選抜（2年次）（8ページ）」、「推薦による編入学選抜（10ページ）」、「社会人の編入学選抜（12ページ）」、「外国人の編入学選抜（14ページ）」の出願資格については、それぞれのページを参照してください。

4. 出願期間： [A日程] 2021年9月10日(金)～9月16日(木) } 15時必着 [B日程] 2022年2月10日(木)～2月16日(水) }

5. 出願書類・出願上の注意・入学検定料

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト (https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html) にアクセスし、出願登録を開始してください。



(1) 出願書類

- ① **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
- ② **志望理由書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- ③ **証明書** (i) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 1通
(ii) 成績証明書 1通

なお、提出する証明書に在学期間の記載が無い場合は、本学所定の在学期間証明書（本学ホームページより取得）をご提出ください。

※ **写真データ** インターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものをご準備ください。

(2) 出願上の注意

- ① 出願書類は必ず簡易書留速達郵便で、出願期間内に必着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
- ② 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に記入してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- ③ いったん納入された入学検定料および提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- ④ 受験票が発行可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページに通知されます（試験日の約7日前）。マイページから受験票を取得して印刷してください。
受験票は本学から郵送しません。

(3) 入学検定料： 30,000円

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。金融機関からの納入はできません。

6. 選抜方法： 英語、小論文（工学部は小テスト）、面接、書類審査により総合的に選抜します。

試験科目	英 語	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合 計
配 点	100 (英文学科は200)	200 (英文学科は100)	100	400

- 英語はマークシート方式で行いますので、鉛筆（HまたはHB）と消しゴムを持参してください。
- 小論文は学科ごとに別課題で800字程度です。
- 工学部（情報基盤工学科以外）の小テストは、数学・物理・化学の基礎的問題を数問解答します。
- 工学部情報基盤工学科の小テストは、数学の基礎的問題を数問解答します。

7. 試験日・試験場・試験時間

- (1) 試験日： [A日程] 2021年10月7日(木)
[B日程] 2022年3月3日(木)
- (2) 試験場： 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）
- (3) 試験時間：

試験時間 [A及びB日程共通]	9：30～10：30	11：00～12：00	13：00～
文学部・経済学部・経営学部 法学部・教養学部	英 語	小論文	面 接
工学部		小テスト	

※集合時間は9時です。詳細は後日連絡します。

8. 合格発表

- (1) 日 時： [A日程] 2021年10月15日(金) } 14時
[B日程] 2022年3月14日(月) }
- (2) 方 法： 合格者の受験番号を大学構内（土樋キャンパスホワイ記念館1階 電子掲示板）に掲示するとともに、合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。併せて本学ホームページにも合格者受験番号一覧を掲載します。
なお、出願資格を「見込み」で受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

9. 入学手続期限： [A日程] 2021年11月8日(月) } 15時必着 ※郵送・窓口受付 [B日程] 2022年3月23日(水) }

10. 学生納付金等： 本要項17ページを参照してください。

一般編入学選抜（2年次）

1. 編入学年次： 2年次

2. 募集定員

学部	学科	定員	学部	学科	定員
文学部	英文学科	6名	法学部	法律学科	4名
	歴史学科	2名		教養学部	人間科学科
経済学部	経済学科	6名	言語文化学科		2名
	共生社会経済学科	4名	情報科学科		2名
経営学部	経営学科	6名		地域構想学科	2名

※総合人文学科、教育学科、機械知能工学科、電気電子工学科、環境建設工学科、情報基盤工学科は、2年次編入学選抜を実施しません。

3. 出願資格： 次の(1)、(2)のいずれかに該当する方です。

- (1) 本学以外の大学に1年以上在学し、32単位以上を修得した方、または2022年3月修得見込みの方
- (2) 外国において、学校教育における13年の課程を修了した方、またはこれに準ずる方

【注意】

- ① 本学以外の修業年限4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く）し、32単位以上を修得した方、または外国において学校教育における13年の課程を修了した方（見込みの方を含む）。本学以外の修業年限4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く）し、32単位以上を修得した中途退学、または外国において学校教育における13年の課程を修了し所定の学修成果を有する中途退学の方が対象です。
- ② 専修学校、高等専門学校、短期大学の出身者は出願できません。
- ③ 本学在学者は転学科（転学部を含む）の対象となるため出願できません。
- ④ 出願資格要件を満たす見込みで合格し入学手続きを完了しても、その要件を満たせなかった場合、合格は取り消されます。
- ⑤ 上記(2)より出願しようとする方は、出願資格等について事前の確認を行いますので、出願期間の開始2週間前までにアドミッションズ・オフィスへ問い合わせてください。

4. 出願期間： 2022年2月10日(木)～2月16日(水) 15時必着

5. 出願書類・出願上の注意・入学検定料

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト (https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html) にアクセスし、出願登録を開始してください。



(1) 出願書類

- ① **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
- ② **志望理由書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- ③ **証明書** (i) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 1通
(ii) 成績証明書 1通

なお、提出する証明書に在学期間の記載が無い場合は、本学所定の在学期間証明書（本学ホームページより取得）をご提出ください。

- ※ **写真データ** インターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものをご準備ください。

(2) 出願上の注意

- ① 出願書類は必ず簡易書留速達郵便で、出願期間内に必着するようアドミSSIONズ・オフィスへ郵送してください。
- ② 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に記入してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- ③ いったん納入された入学検定料および提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- ④ 受験票が発行可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページに通知されます（試験日の約7日前）。マイページから受験票を取得して印刷してください。
受験票は本学から郵送しません。

(3) 入学検定料： 30,000円

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。金融機関からの納入はできません。

6. 選抜方法： 英語、小論文、面接、書類審査により総合的に選抜します。

試験科目	英 語	小論文	書類審査・面接	合 計
配 点	100 (英文学科は200)	200 (英文学科は100)	100	400

○英語はマークシート方式で行いますので、鉛筆（HまたはHB）と消しゴムを持参してください。

○小論文は学科ごとに別課題で800字程度です。

7. 試験日・試験場・試験時間

- (1) 試験日： 2022年3月3日(木)
- (2) 試験場： 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）
- (3) 試験時間：

試験時間	9：30～10：30	11：00～12：00	13：00～
文学部・経済学部・経営学部 法学部・教養学部	英 語	小論文	面 接

※集合時間は9時です。詳細は後日連絡します。

8. 合格発表

- (1) 日 時： 2022年3月14日(月) 14時
- (2) 方 法： 合格者の受験番号を大学構内（土樋キャンパスホーイ記念館1階 電子掲示板）に掲示するとともに、合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。併せて本学ホームページにも合格者受験番号一覧を掲載します。
なお、出願資格を「見込み」で受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

9. 入学手続期限： 2022年3月23日(水) 15時必着 ※郵送・窓口受付

10. 学生納付金等： 本要項17ページを参照してください。

推薦による編入学選抜（3年次）

1. 編入学年次： 3年次

2. 募集定員： 教育学科を除くすべての学部・学科で募集しますが、募集定員はとくに定めません。

3. 出願資格： 次の(1)、(2)のいずれかに該当する方です。

- (1) 短期大学または高等専門学校を2022年3月に卒業見込みの方で、学業成績が特に優れ、短期大学長または高等専門学校長からの推薦による方
- (2) 専修学校の専門課程を2022年3月に修了見込みの方で、学業成績が特に優れ、学校長からの推薦による方

【注意】 推薦による編入学選抜への出願が認められるのは、本学の学科内容と同系統を学ぶ短期大学、高等専門学校および専修学校の方にかぎられます。希望される場合は現在所属の学校の担当者（部局）を通じ、具体的推薦条件などについて本学アドミッションズ・オフィスへ8月末までにご確認ください。（TEL 022-264-6455）

4. 出願期間： 2021年9月10日(金)～9月16日(木) 15時必着

5. 出願書類・出願上の注意・入学検定料

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト (https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html) にアクセスし、出願登録を開始してください。



(1) 出願書類

- ① **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
 - ② **志望理由書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
 - ③ **証明書** (i) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 1通
(ii) 成績証明書 1通
なお、提出する証明書に在学期間の記載が無い場合は、本学所定の在学期間証明書（本学ホームページより取得）をご提出ください。
 - ④ **推薦書** 短期大学長・高等専門学校長または専修学校長からの推薦書（本学所定の用紙）
- ※ **写真データ** インターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものをご準備ください。

(2) 出願上の注意

- ① 出願書類は必ず簡易書留速達郵便で、出願期間内に必着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
- ② 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に記入してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- ③ いったん納入された入学検定料および提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- ④ 受験票が発行可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページに通知されます（試験日の約7日前）。マイページから受験票を取得して印刷してください。
受験票は本学から郵送しません。

(3) 入学検定料： **30,000円**

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。金融機関からの納入はできません。

6. 選抜方法： 小論文（工学部は小テスト）、面接、書類審査により総合的に選抜します。

試験科目	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

○小論文は学科ごとに別課題で800字程度です。

○工学部（情報基盤工学科以外）の小テストは、数学・物理・化学の基礎的問題を数問解答します。

○工学部情報基盤工学科の小テストは、数学の基礎的問題を数問解答します。

7. 試験日・試験場・試験時間

(1) 試験日： 2021年10月7日(木)

(2) 試験場： 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）

(3) 試験時間：

試験時間	11:00～12:00	13:00～
文学部・経済学部・経営学部 法学部・教養学部	小論文	面接
工学部	小テスト	

※集合時間は10時30分です。詳細は後日連絡します。

8. 合格発表

(1) 日時： 2021年10月15日(金) 14時

(2) 方法： 合格者の受験番号を大学構内（土樋キャンパスホーイ記念館1階 電子掲示板）に掲示するとともに、合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。併せて本学ホームページにも合格者受験番号一覧を掲載します。

なお、出願資格を「見込み」で受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

9. 入学手続期限： 2021年11月8日(月) 15時必着 ※郵送・窓口受付

10. 学生納付金等： 本要項17ページを参照してください。

■ 社会人の編入学選抜（3年次） [A日程・B日程]

1. 編入学年次： 3年次
2. 募集定員： 教育学科を除くすべての学部・学科で募集しますが、募集定員はとくに定めません。
3. 出願資格： 次の(1)～(3)のいずれかに該当する方です。
 - (1) 短期大学または高等専門学校を2019年3月以前に卒業した方
 - (2) 2019年3月までに本学以外の大学に2年以上在籍し、62単位以上（教職・学芸員等の資格に関する科目を除く）を修得した方で、現在、大学に在籍していない方
 - (3) その他、(1)、(2)に準ずる方※ (3)の条件に当てはまるかどうかは、必ず事前にアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。(TEL：022-264-6455)
4. 出願期間： [A日程] 2021年9月10日(金)～9月16日(木)
[B日程] 2022年2月10日(木)～2月16日(水) } 15時必着

5. 出願書類・出願上の注意・入学検定料

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト (https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html) にアクセスし、出願登録を開始してください。



- (1) 出願書類
 - ① **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
 - ② **志望理由書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
 - ③ **証明書** (i) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 1通
(ii) 成績証明書 1通※ **写真データ** インターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものをご準備ください。
- (2) 出願上の注意
 - ① 出願書類は必ず簡易書留速達郵便で、出願期間内に必着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
 - ② 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に記入してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
 - ③ いったん納入された入学検定料および提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
 - ④ 受験票が発行可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページに通知されます（試験日の約7日前）。マイページから受験票を取得して印刷してください。
受験票は本学から郵送しません。
- (3) 入学検定料： **30,000円**

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。金融機関からの納入はできません。

6. 選抜方法： 小論文（工学部は小テスト）、面接、書類審査により総合的に選抜します。

試験科目	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

○小論文は学科ごとに別課題で800字程度です。

（文学部英文学科の小論文には、英語の問題が含まれる場合もあります）

○工学部（情報基盤工学科以外）の小テストは、数学・物理・化学の基礎的問題を数問解答します。

○工学部情報基盤工学科の小テストは、数学の基礎的問題を数問解答します。

7. 試験日・試験場・試験時間

(1) 試験日： [A日程] 2021年10月7日(木)

[B日程] 2022年3月3日(木)

(2) 試験場： 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）

(3) 試験時間：

試験時間 [A及びB日程共通]	11:00～12:00	13:00～
文学部・経済学部・経営学部 法学部・教養学部	小論文	面接
工学部	小テスト	

※集合時間は10時30分です。詳細は後日連絡します。

8. 合格発表

(1) 日時： [A日程] 2021年10月15日(金) } 14時
[B日程] 2022年3月14日(月) }

(2) 方法： 合格者の受験番号を大学構内（土樋キャンパスホーイ記念館1階 電子掲示板）に掲示するとともに、合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。併せて本学ホームページにも合格者受験番号一覧を掲載します。

9. 入学手続期限： [A日程] 2021年11月8日(月) } 15時必着 ※郵送・窓口受付
[B日程] 2022年3月23日(水) }

10. 学生納付金等： 本要項17ページを参照してください。

外国人の編入学選抜（3年次）

1. 編入学年次： 3年次

2. 募集定員： 教育学科を除くすべての学部・学科で募集しますが、募集定員はとくに定めません。

3. 出願資格： 次の(1)、(2)の要件を満たしている方です。

(1) 外国において通常の課程による14年の学校教育を修了した方、またはそれと同等以上の資格を有する方

(2) 独立行政法人日本学生支援機構が2021年6月または11月に実施する「日本留学試験」を受験した方で、日本語の得点が受験生の平均点以上の方

【注意】 外国人留学生とは、日本の大学等において教育を受ける目的をもって入国し、大学等に入学した外国人学生のことをいいます。すなわち、「出入国管理及び難民認定法」の『留学』に定める在留資格によって入国した方および他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て、入学までに上記に定める資格に変更する方が該当します。

4. 出願期間： 2022年2月10日(木)～2月16日(水) 15時必着

5. 出願書類・出願上の注意・入学検定料

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト(https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html)にアクセスし、出願登録を開始してください。



(1) 出願書類

- ① **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
- ② **志望理由書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- ③ **証明書** (i) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 1通
(ii) 成績証明書 1通
- ④ **写真** 1枚（タテ4cm×ヨコ3cm）カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものを⑤の「外国人留学生入学願書」に貼付してください。なおインターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。
- ⑤ **外国人留学生入学願書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- ⑥ **住民票の写し**
- ⑦ **パスポートまたは在留カードの写し**

⑧ 「日本留学試験」の成績通知書または成績証明書

[日本留学試験に関する注意事項]

- ・ 出題言語 日本語
- ・ 成績利用範囲 2021年6月実施分および11月実施分
- ・ 試験科目 「日本留学試験」のうち、以下の科目を受験していること

志望学部	試験科目(必須)	試験科目(選択)
文学部 経済学部 経営学部 法学部	日本語	総合科目、数学(コース1)から どちらか1科目
教養学部		理科(2科目自由選択)、総合科目、 数学(コース1)からどれか1科目
工学部	日本語、理科(物理・化学)、 数学(コース2)	—————

「日本留学試験」については、独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO) 日本留学試験受付センターにお問い合わせください。

独立行政法人 日本学生支援機構 日本留学試験受付センター

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル7F

TEL: 0570-55-0585 (一部携帯電話、IP電話及び海外からの電話は、
042-649-9571をご利用ください。)

FAX: 042-649-9569 E-mail: eju@ sdcj.co.jp

⑨ 経費支弁に関する書類で次のいずれかに該当するもの (出入国管理及び難民認定法施行規則 (抄) 別表第三に掲げる立証資料として)

- i 本人が学費・生活費を支弁する場合
奨学金の給付に関する証明書または本人名義の銀行等における預金残高証明書
- ii 本国からの送金により学費・生活費を支弁する場合
 - (a) 送金者作成の経費支弁書 [本学所定の用紙 (本学ホームページより取得) を用い、記入してください。]
 - (b) 送金者名義の銀行等における預金残高証明書
- iii 本人以外の日本国内居住者が学費・生活費を支弁する場合
 - (a) 経費支弁者作成の経費支弁書 [本学所定の用紙 (本学ホームページより取得) を用い、記入してください。]
 - (b) 経費支弁者の課税証明書 (総所得が記載されたもの)、源泉徴収票、確定申告書 (控) の写しまたは預金残高証明書のいずれか1点

【注意】 預金残高証明書は、本学入学年度学生納付金相当額の残高が明記されていること。

※ 卒業証明書、成績証明書、経費支弁に関する書類等について

卒業証明書、成績証明書等が日本語、英語以外の言語で書かれている場合は、日本語または英語の訳文を添付してください。

経費支弁に関する書類の訳文には翻訳者の署名捺印、志願者との関係を記入してください。

提出書類は原本を提出してください。(コピー不可)

【注意】 銀行等における預金残高証明書の提出に際しては、必ず事前にアドミッションズ・オフィスにご確認ください。(TEL: 022-264-6455)

(2) 出願上の注意・入学検定料は一般編入学選抜 (3年次) と同じです (7ページ参照)。

6. 選抜方法： 小論文（工学部は小テスト）、面接、書類審査により総合的に選抜します。

試験科目	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

○小論文は学科ごとに別課題で800字程度です。

（文学部英文学科の小論文には、英語の問題が含まれる場合もあります。）

○工学部（情報基盤工学科以外）の小テストは、数学・物理・化学の基礎的問題を数問解答します。

○工学部情報基盤工学科の小テストは、数学の基礎的問題を数問解答します。

7. 試験日・試験場・試験時間

(1) 試験日： 2022年3月3日(木)

(2) 試験場： 土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）

(3) 試験時間：

試験時間	11:00～12:00	13:00～
文学部・経済学部・経営学部 法学部・教養学部	小論文	面接
工学部	小テスト	

※集合時間は10時30分です。詳細は後日連絡します。

8. 合格発表

(1) 日時： 2022年3月14日(月) 14時

(2) 方法： 合格者の受験番号を大学構内（土樋キャンパスホーイ記念館1階 電子掲示板）に掲示するとともに、合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。併せて本学ホームページにも合格者受験番号一覧を掲載します。

なお、出願資格を「見込み」で受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

9. 入学手続期限： 2022年3月23日(水) 15時必着 ※郵送・窓口受付

10. 学生納付金等： 本要項次ページを参照してください。

学生納付金等

[2021年度参考] (単位:円)

項目	学部 文学部英文学科・総合人文学科・歴史学科 経済学部・経営学部・法学部			工 学 部			教 養 学 部		
	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計
* 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料				35,000	35,000	70,000			
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学 納 金 計	760,000	490,000	1,250,000	969,000	699,000	1,668,000	827,000	557,000	1,384,000
後 援 会 費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
*同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同 窓 会 費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,200	0	1,200				1,200	0	1,200
工 学 会 費				500	0	500			
*学生会入会費	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学 生 会 費	6,000	0	6,000	8,000	0	8,000	6,000	0	6,000
諸 会 費 計	30,200	0	30,200	32,500	0	32,500	30,200	0	30,200
合 計	790,200	490,000	1,280,200	1,001,500	699,000	1,700,500	857,200	557,000	1,414,200

【注意】

- ① 2022年度入学生については、上記の金額が改定されることがあります。
- ② *印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は入学後10月に納入することになります。
- ③ 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- ④ 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。
- ⑤ 本学を卒業された方は、入学金と同窓会入会費を徴収いたしません。

授業でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。

「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日の毎朝10:25～10:45の20分間、本学礼拝堂において、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く大学礼拝が行われます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が応対いたします。

東北学院大学編入学包括認定単位

既修得単位の認定について

既修得単位の認定方法は学部・学科ごとに少しずつ異なります。3年次編入の場合、基本的には、包括認定方式を用い、一部読替え認定を併用しながら、各学部・学科が定めた卒業所要単位の2分の1を限度として、48～64単位の範囲で下記のとおり認定しております。

なお、読替え単位につきましては、合格後にシラバスを提出していただき読替え可能かどうか確認をいたします。文学部、工学部の方は合格後にシラバスを提出できるように準備をお願いします。

学部	学科	卒業単位	3年次			2年次	
			包括認定単位	読替え単位	編入学後に修得が必要な卒業単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
文学部	英文学科	124	56	最大6単位まで	68～62	28	96
	総合人文学科	124	48	最大14単位まで	76～62		
	歴史学科	124	48	最大14単位まで	76～62		
経済学部	経済学科	124	同系統 62		62	30	94
			異系統 48		76		
	共生社会経済学科	124	同系統 62		62	30	94
			異系統 58		66		
経営学部	経営学科	124	同系統 62		62	同系統 30	94
			異系統 58		66	異系統 30	94
法学部	法律学科	124	同系統 62		62	同系統 30	94
			異系統 56		68	異系統 28	96
工学部	機械知能工学科	124	50	最大12単位まで	74～62		
	電気電子工学科	124	50	最大12単位まで	74～62		
	環境建設工学科	124	50	最大12単位まで	74～62		
	情報基盤工学科	124	50	最大12単位まで	74～62		
教養学部	人間科学科	124	62		62	30	94
	言語文化学科	124	62		62	30	94
	情報科学科	124	62		62	30	94
	地域構想学科	124	62		62	30	94

各学部（3年次）の科目区別による包括認定単位については次の通りです。

文学部

◎英文学科 56単位～62単位（包括56単位・読替え6単位）

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目	34	32	2	2
地域教育科目	2	2	0	0
外国語科目 第1類	4	4	0	0
外国語科目 第2類	2	2	0	0
専門教育科目 第1類 必修科目・選択必修科目	8	8	0	0
専門教育科目 第1類 選択科目	12	0	12	12
専門教育科目 第2類～第4類 必修科目	12	4	8	8
専門教育科目 第2類～第4類 専修分野必修科目	12	0	12	12
専門教育科目 第2類～第4類 選択科目	16	0	16	16
専門教育科目 第5類・第6類 選択科目	0	0	0	0
専門教育科目 第7類 必修科目	2	0	2	2
外国語科目 第2類 保健体育科目 専門教育科目 第1類～第6類 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している 他大学開講科目	20	4	16	16
合計	124	56	68	68

※ 読替え6単位（対応科目があれば包括認定に加える）

◎総合人文学科 48単位～62単位（包括48単位・読替え14単位）

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目	34	32	2	2
地域教育科目	2	2	0	0
外国語科目 第1類	4	4	0	0
外国語科目 第2類	2	2	0	0
専門教育科目 第1類	4	4	0	0
専門教育科目 第2類～第4類	38	0	38	38
専門教育科目 第5類～第7類	12	0	12	12
外国語科目 第2類、保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している 他大学開講科目	28	4	24	24
合計	124	48	76	76

※ 読替え14単位（対応科目があれば包括認定に加える）

◎歴史学科 48単位～62単位（包括48単位・読替え14単位）

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目	34	32	2	2
地域教育科目	2	2	0	0
外国語科目 第1類	4	4	0	0
外国語科目 第2類	2	2	0	0
専門教育科目 第1類	12	0	12	12
専門教育科目 第2類	32	0	32	32
専門教育科目 第3類	8	0	8	8
専門教育科目 第4類	4	0	4	4
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目、保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している 他大学開講科目	26	8	18	18
合計	124	48	76	76

※ 読替え14単位（対応科目があれば包括認定に加える）

経済学部

◎経済学科 同系統出身者は包括62単位、異系統出身者は包括48単位

科目区分	同系統出身者			異系統出身者		
	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	6	4	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	6	2	8	6	2
教養教育科目 学教科 教養科目	16	16	0	16	14	2
地域教育科目 必修 (地域の課題 I)	2	2	0	2	2	0
外国語科目 第1類	4	4	0	4	4	0
専門教育科目 第1類	24	20	4	24	8	16
専門教育科目 第2類	40	0	40	40	0	40
専門教育科目 第3類	4	4	0	4	4	0
地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目、専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している 他大学開講科目	16	4	12	16	4	12
合計	124	62	62	124	48	76

◎共生社会経済学科 包括58単位

科目区分	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
	教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	8
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	0
教養教育科目 学教科 教養科目	16	16	0
地域教育科目 必修 (地域の課題 I)	2	2	0
外国語科目 第1類	4	4	0
専門教育科目 第1類 (経済系) 経済学基礎	10	0	10
専門教育科目 第1類 (経済系) 現代の経済	12	0	12
専門教育科目 第2類 (共生社会系) 政策	12	0	12
専門教育科目 第2類 (共生社会系) 社会	12	0	12
専門教育科目 第3類 総合演習	2	2	0
地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目、専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している 他大学開講科目	36	18	18
合計	124	58	66

経営学部

◎経営学科 同系統出身者は包括62単位、異系統出身者は包括58単位

科目区分	同系統出身者			異系統出身者		
	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	6	4	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	0	8	8	0
教養教育科目 学教科 教養科目	16	16	0	16	16	0
地域教育科目	2	2	0	2	2	0
外国語科目 第1類	4	4	0	4	4	0
専門教育科目 第1類	4	4	0	4	0	4
専門教育科目 第2類～第6類	52	12	40	52	12	40
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目 第2類、保健体育科目 専門教育科目 第2類～第6類 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	28	10	18	28	10	18
合計	124	62	62	124	58	66

法学部

◎法律学科 同系統出身者は包括62単位、異系統出身者は包括56単位

科目区分	同系統出身者			異系統出身者		
	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目	34	32	2	34	32	2
地域教育科目	2	2	0	2	2	0
外国語科目 第1類	4	4	0	4	4	0
教養教育科目、学教科 教養科目 地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目 他学部・他大学開講非専門教育科目	8	8	0	8	8	0
専門教育科目 導入科目	4	4	0	4	2	2
専門教育科目 第1類～第9類 他学部・他大学開講専門教育科目	72	12	60	72	8	64
合計	124	62	62	124	56	68

※ 既修得単位が62単位（同系統）または56単位（異系統）を下回る場合、既修得単位だけを認定する。それによる卒業に要する単位の増加分は専門教育科目で履修するものとする。

工学部（機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科・情報基盤工学科）50単位～62単位（包括50単位・読替え12単位）

科目区分	機械知能工学科			電気電子工学科			環境建設工学科			情報基盤工学科		
	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位
教養教育科目	38	18	20	38	18	20	38	18	20	38	18	20
地域教育科目	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2
学部共通専門科目 学科専門科目	80	30	50	80	30	50	80	30	50	80	30	50
合 計	124	50	74	124	50	74	124	50	74	124	50	74

※ 読替え12単位（対応科目があれば包括認定に加える）

※環境建設工学科のみ、JABEE
プログラム履修生として編入
学を希望する場合は別途お問
合せください。

教養学部

◎人間科学科 包括62単位

科目区分	単位数		卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	
	TG ベーシック	人間的基礎 知的基礎				
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	8	2	
		知的基礎	10	10	0	
	学科教 養科目	人文系	4	4 4 4	18	0
		社会系	4			
		自然系	4			
東北学院の歴史	4					
小計		38	36	2		
地 域 教 育 科 目		2	2	0		
外国語科目	第 1 類	4	4	0		
	第 2 類	2	2	0		
	小計	6	6	0		
学 部 共 通 科 目		14	6	8		
学科専門科目	基礎科目	12	0	12		
	研究方法科目	8	0	8		
	専門科目	26	0	26		
	基礎科目 研究方法科目 専門科目 専門関連科目	8	2	6		
小計		54	2	52		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		10	10	0		
合 計		124	62	62		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

◎言語文化学科 包括62単位

科目区分	単位数		卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	
	TG ベーシック	人間的基礎 知的基礎				
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	8	2	
		知的基礎	10	10	0	
	学科教 養科目	人文系	4	4 4 4	18	0
		社会系	4			
		自然系	4			
東北学院の歴史	4					
小計		38	36	2		
地 域 教 育 科 目		2	2	0		
外国語科目	第 1 類	4	4	0		
	第 2 類	8	8	0		
	小計	12	12	0		
学 部 共 通 科 目		14	4	10		
学科専門科目	基礎科目	10	2	8		
	外国語専門科目	8	0	8		
	専門科目	2	0	2		
	基礎科目 外国語専門科目 専門科目	26	2	24		
小計		46	4	42		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	4	8		
合 計		124	62	62		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

◎情報科学科 包括62単位

科目区分	単位数		卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	
	TG ベーシック	人間的基礎 知的基礎				
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	8	2	
		知的基礎	10	10	0	
	学科教 養科目	人文系	4	4 4 4	14	4
		社会系	4			
		自然系	4			
東北学院の歴史	4					
小計		38	32	6		
地 域 教 育 科 目		2	2	0		
外国語科目	第 1 類	4	4	0		
	第 2 類	2	2	0		
	小計	6	6	0		
学 部 共 通 科 目		14	2	12		
学科専門科目	基礎科目	22	20	2		
	専門科目	30	0	30		
	小計	52	20	32		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	0	12		
合 計		124	62	62		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

◎地域構想学科 包括62単位

科目区分	単位数		卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単 位	
	TG ベーシック	人間的基礎 知的基礎				
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	6	4	
		知的基礎	10	6	4	
	学科教 養科目	人文系	4	4 4 4	18	0
		社会系	4			
		自然系	4			
東北学院の歴史	4					
小計		38	30	8		
地 域 教 育 科 目		2	2	0		
外国語科目	第 1 類	4	4	0		
	第 2 類	2	2	0		
	小計	6	6	0		
学 部 共 通 科 目		14	4	10		
学科専門科目	基礎科目	16	10	6		
	領域専門科目	20	0	20		
	実習科目	6	6	0		
	基礎科目 領域専門科目 実習科目 専門関連科目	10	0	10		
小計		52	16	36		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	4	8		
合 計		124	62	62		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

各学部（2年次）の科目区分別による包括認定単位については次の通りです。

文学部

◎英文学科 包括28単位

科目区分	単位数	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	6	2
教養教育科目 学科教養科目	16	16	14	2
地 域 教 育 科 目	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	4	2	2
外国語科目 第2類	2	2	0	2
専 門 教 育 科 目 第1類 必修科目・選択必修科目	8	8	0	8
専 門 教 育 科 目 第1類 選 択 科 目	12	12	0	12
専 門 教 育 科 目 第2類～第4類 必修科目	12	12	0	12
専 門 教 育 科 目 第2類～第4類 専修分野必修科目	12	12	0	12
専 門 教 育 科 目 第2類～第4類 選 択 科 目	16	16	0	16
専 門 教 育 科 目 第5類・第6類 選 択 科 目	0	0	0	0
専 門 教 育 科 目 第7類 必 修 科 目	2	2	0	2
外国語科目 第2類、保健体育科目 専門教育科目 第1類～第6類、 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	20	20	0	20
合 計	124	124	28	96

※ 読替え3単位（対応科目があれば包括認定に加える）

◎歴史学科 包括24単位

科目区分	単位数	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	6	2
教養教育科目 学科教養科目	16	16	6	10
地 域 教 育 科 目	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	4	2	2
外国語科目 第2類	2	2	2	0
専 門 教 育 科 目 第1類	12	12	0	12
専 門 教 育 科 目 第2類	32	32	0	32
専 門 教 育 科 目 第3類	8	8	0	8
専 門 教 育 科 目 第4類	4	4	0	4
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目、 保健体育科目、専門教育科目、 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	26	26	2	24
合 計	124	124	24	100

※ 読替え7単位（対応科目があれば包括認定に加える）

経済学部

◎経済学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	6	2
教養教育科目 学科教養科目	16	16	8	8
地域教育科目 必修（地域の課題Ⅰ）	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	4	2	2
専門教育科目 第1類	24	24	0	24
専門教育科目 第2類	40	40	0	40
専門教育科目 第3類	4	4	4	0
地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目、専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	16	16	4	12
合 計	124	124	30	94

◎共生社会経済学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	10	6	4
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	6	2
教養教育科目 学科教養科目	16	16	14	2
地域教育科目 必修（地域の課題Ⅰ）	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	4	2	2
専門教育科目 第1類(経済系) 経済学基礎	10	10	0	10
専門教育科目 第1類(経済系) 現代の経済	12	12	0	12
専門教育科目 第2類(共生社会系) 政 策	12	12	0	12
専門教育科目 第2類(共生社会系) 社 会	12	12	0	12
専門教育科目 第3類 総合演習	2	2	2	0
地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目、専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	36	36	0	36
合 計	124	124	30	94

経営学部

◎経営学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件 単 位	包括認定 単 位	編入学後に 修得が必要な 卒業単位
教養教育科目 TGベーシック 人間的基礎	10	10	4	6
教養教育科目 TGベーシック 知的基礎	8	8	4	4
教養教育科目 学科教養科目	16	16	10	6
地 域 教 育 科 目	2	2	0	2
外国語科目 第1類	4	4	2	2
専門教育科目 第1類	4	4	0	4
専門教育科目 第2類～第6類	52	52	10	42
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目 第2類、保健体育科目 専門教育科目 第2類～第6類 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目	28	28	0	28
合 計	124	124	30	94

法学部

◎法律学科 同系統出身者は包括30単位、異系統出身者は包括28単位

科目区分	単位数	同系統出身者			異系統出身者		
		卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位
教養教育科目		34	20	14	34	20	14
地域教育科目		2	0	2	2	0	2
外国語科目 第1類		4	2	2	4	2	2
教養教育科目、学科教養科目 地域教育科目、外国語科目 第2類 保健体育科目 他学部・他大学開講非専門教育科目		8	4	4	8	4	4
専門教育科目 導入科目		4	4	0	4	2	2
専門教育科目 第1類～第9類		72	0	72	72	0	72
合 計		124	30	94	124	28	96

教養学部

◎人間科学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位		
				単位	単位	
教養教育科目	TG	10	4	6		
	ベーシック	10	6	4		
	学科教養科目	人間的基礎	18	2	2	12
		知的基礎		2	2	
		人文系		2	2	
		社会系		2	2	
自然系	4	2	2			
東北学院の歴史	4	2	2			
小計	38	16	22			
地域教育科目		2	0	2		
外国語科目	第1類	4	2	2		
	第2類	2	2	0		
	小計	6	4	2		
学部共通科目		14	4	10		
学科専門科目	基礎科目	12	0	12		
	研究方法科目	8	0	8		
	専門科目	26	0	26		
	基礎科目 研究方法科目 専門科目 専門関連科目	8	0	8		
	小計	54	0	54		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		10	6	4		
合 計		124	30	94		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

◎情報科学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位		
				単位	単位	
教養教育科目	TG	10	4	6		
	ベーシック	10	6	4		
	学科教養科目	人間的基礎	18	2	2	12
		知的基礎		2	2	
		人文系		2	2	
		社会系		2	2	
自然系	4	2	2			
東北学院の歴史	4	2	2			
小計	38	16	22			
地域教育科目		2	0	2		
外国語科目	第1類	4	2	2		
	第2類	2	2	0		
	小計	6	4	2		
学部共通科目		14	2	12		
学科専門科目	基礎科目	22	0	22		
	専門科目	30	0	30		
	小計	52	0	52		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	8	4		
合 計		124	30	94		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

問い合わせ先

文学部・経済学部・経営学部・法学部
土樋キャンパス教務課 TEL 022(264)6451

工学部
多賀城キャンパス学務係 TEL 022(368)1119

教養学部
泉キャンパス学務係 TEL 022(375)1141

◎言語文化学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位		
				単位	単位	
教養教育科目	TG	10	4	6		
	ベーシック	10	6	4		
	学科教養科目	人間的基礎	18	2	2	12
		知的基礎		2	2	
		人文系		2	2	
		社会系		2	2	
自然系	4	2	2			
東北学院の歴史	4	2	2			
小計	38	16	22			
地域教育科目		2	0	2		
外国語科目	第1類	4	2	2		
	第2類	8	8	0		
	小計	12	10	2		
学部共通科目		14	0	14		
学科専門科目	基礎科目	10	0	10		
	外国語専門科目	8	0	8		
	専門科目	2	0	2		
	基礎科目 外国語専門科目 専門科目	26	0	26		
	小計	46	0	46		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	4	8		
合 計		124	30	94		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

◎地域構想学科 包括30単位

科目区分	単位数	卒業要件単位	包括認定単位	編入学後に修得が必要な卒業単位		
				単位	単位	
教養教育科目	TG	10	4	6		
	ベーシック	10	6	4		
	学科教養科目	人間的基礎	18	2	2	12
		知的基礎		2	2	
		人文系		2	2	
		社会系		2	2	
自然系	4	2	2			
東北学院の歴史	4	2	2			
小計	38	16	22			
地域教育科目		2	0	2		
外国語科目	第1類	4	2	2		
	第2類	2	2	0		
	小計	6	4	2		
学部共通科目		14	2	12		
学科専門科目	基礎科目	16	0	16		
	領域専門科目	20	0	20		
	実習科目	6	0	6		
	基礎科目 領域専門科目 実習科目 専門関連科目	10	2	8		
	小計	52	2	50		
教養教育科目、地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類、保健体育科目 学部共通科目、学科専門科目 他学部・他学科開講科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	6	6		
合 計		124	30	94		

なお、既修得の教職課程に関する科目等については、別に認定することができる。

編入学選抜 志望理由書

※
氏名

<p>I. 本学全体および志望する学部の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）をふまえながら、あなたが出願した本学の学科に編入を志望する理由について記述してください。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>II. あなたが出願した本学の学科に編入学したとき、その学科で学ぶ学生として、どのような学修を行いたいと考えていますか。学科の理念・目的、求める学生像に対する理解や考えをふまえながら、学修計画について記してください。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<愛 読 書>
<取 得 資 格>
<卒論・研究テーマ>学士編入の方
※

注意 1. 文字はすべて楷書で明確に書いてください。
 2. 記入は具体的にかつ詳細に書いてください。
 3. 「入学後の学修計画」は、その学科のカリキュラムやコース制などを参照しながら、大学においてどのような学修を行いたいかを記入してください。
 4. ※印の箇所は記入しないでください。

2022年度 東北学院大学外国人留学生入学願書

楷書（日本語・自筆）で記入してください。
※印は記入しないでください。

※受験番号

1. 氏名	姓	名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">写真貼付欄</p> <p>写真(正面上半身脱帽無背景) 出願前3ヵ月以内に撮影したものを、枠にあわせて貼付してください。 万が一はがれた場合のために、写真裏面には必ず氏名を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">(縦4 cm×横3 cm)</p> </div>					
	フリガナ (カタカナで)							
	母国語 (または漢字で)							
英語 (アルファベットで)								
2. 国籍								
3. 生年月日	年	月		日	4. 性別	男	・	女
5. 日本での住所	〒 -							
	E-mail							
	電話番号			- -				
6. 自国の住所	〒 -							
	電話番号			- -				
7. 合格通知送付先住所	〒 -							
	電話番号		- -					
8. 現在の在留資格	9. 在留期限 (パスポートまたは 在留カード記載)			10. 来日年月日				
	年 月 日			年 月 日				
11. 志望学科	学部			学科				
12. 留学目的	-----							

13. 学 歴 (小学校から最終学年まで年代順に詳しく記入してください)				
	学 校 名 (所 在 地)	修 業 年 限	入 学 年 月	卒 業 年 月
小 学 校	()	年	年 月	年 月
中 学 校	()	年	年 月	年 月
高 等 学 校	()	年	年 月	年 月
専 門 学 校	()	年	年 月	年 月
大 学	()	年	年 月	年 月
大 学 院	()	年	年 月	年 月

14. 職 歴			
勤 務 先	所 在 地	仕 事 の 内 容	勤 務 期 間
15. 兵 役	<input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 終了予定		年 月 ~ 年 月

16. 日本語の知識 (熟達程度を自分で判断し、○で囲んでください)			
日本語能力	熟達程度		
読解力	よくできる	普通	あまりできない
筆記力	よくできる	普通	あまりできない
聴解力	よくできる	普通	あまりできない
会話力	よくできる	普通	あまりできない
日本語学習経験(学校名)	学校所在地	在学期間	年数
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
17. 日本留学試験	2021年受験 月 日 受験番号 受験地 (注) 2021年6月および11月実施分のうち、いずれか1回分を記入してください。		
18. 家族			
氏名	続柄	年齢	現住所
以上のおとり相違ありません。		日付 年 月 日 本人署名	⑩
※本学記入欄 本国における大学入学資格 (有・無)			
その他			

経費支弁書

日本国法務大臣 殿

学生氏名： _____

国 籍： _____
年 月 日生 (男 ・ 女)

私は、このたび上記の者が日本国に 在 留 中 の経費支弁者になりましたので、下記
入国した場合 のとおり経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

記

1. 経費支弁の引き受け経緯 (申請者の経費支弁を引受けた経緯及び申請者との関係について
具体的に記載してください)

.....
.....
.....
.....
.....

2. 経費支弁内容

私 _____ は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁する
ことを誓約します。また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書または本人
名義の預金通帳 (送金事実、経費支弁事実が記載されたもの) 写し等で、生活費等の支弁
事実を明らかにする書類を提出します。

記

- 1) 学 費 毎年・半年ごと・年間 _____ 円
2) 生 活 費 月額 _____ 円
3) 支弁方法 (送金・振込み等支弁方法を具体的に書いてください)

学 費 _____
生 活 費 _____

経費支弁者

職業 _____ 電話 _____ 学生との関係 _____

住所 _____

氏名 (署名) _____ 印 _____ 年 _____ 月 _____ 日

在学期間証明書

氏 名： _____

生年月日：西暦_____年_____月_____日

記

学部 _____ 学部 _____
学科 _____ 学科 _____
(コース) _____ (コース) _____

入学年月日 西暦_____年_____月_____日
現在_____学年在学中
退学 西暦_____年_____月_____日
その他 (_____)

休学期間 休学期間なし
休学期間あり
(西暦_____年_____月_____日～_____年_____月_____日)
(西暦_____年_____月_____日～_____年_____月_____日)

上記のとおり、在学していたことを証明します。

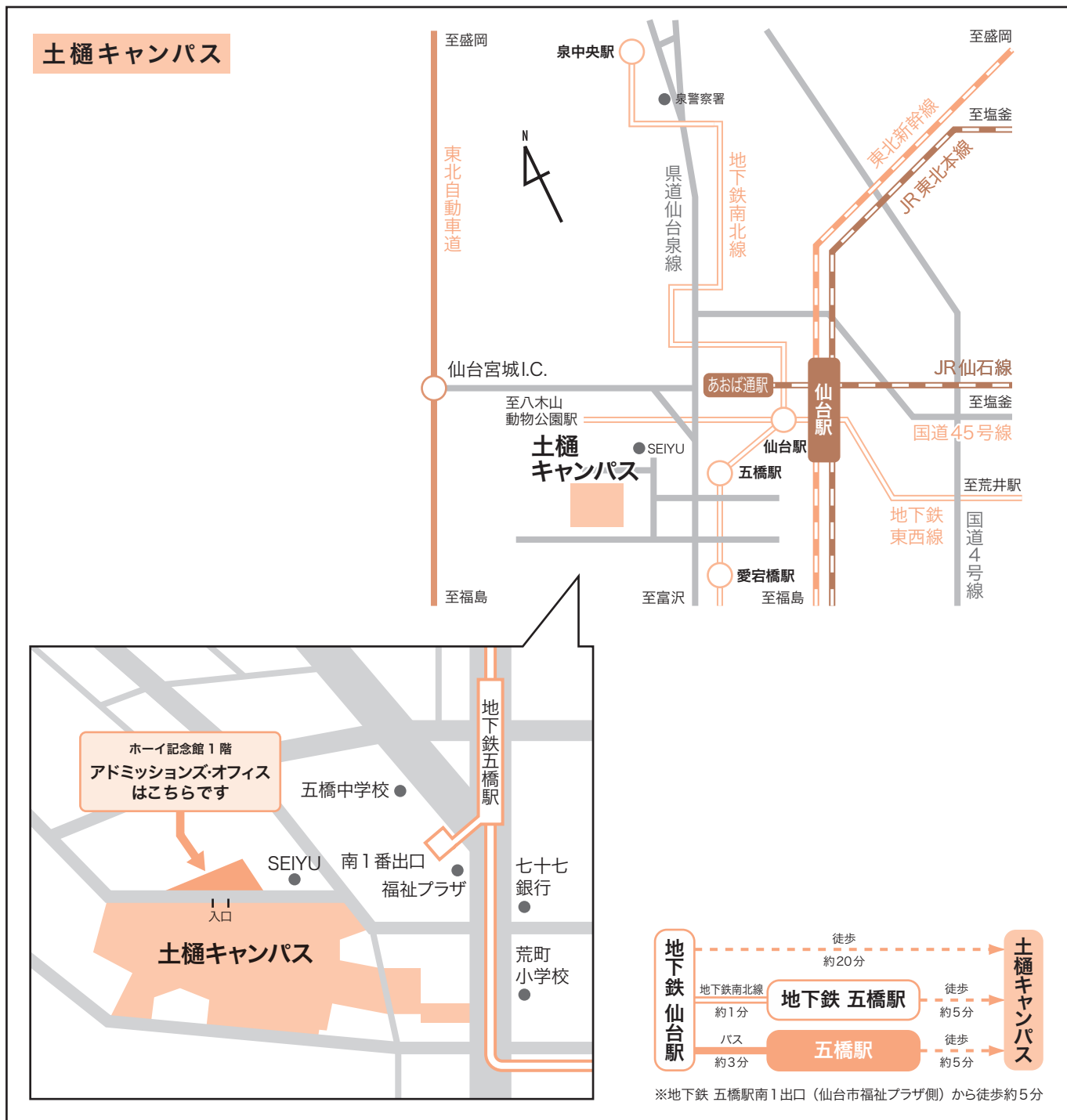
西暦_____年_____月_____日

学校名

学長名

印

試験場案内図



東北学院大学 アドミSSIONズ・オフィス
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1
TEL : 022-264-6455 FAX : 022-264-6377